大日本國東山道陸奥州

從苅田郡
至膽澤下郡

驛路圖 二

亥二
一ノ瀬
182

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

第　號
龜井家藏書

大日本國東山道陸奥別驛路圖卷第二

敷別神都
奥別仙臺
大槻雄淵泰衛
泰穩麻呂圖

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182
ガラス使用

苅田郡　和名鈔曰苅田

築田郡　之波大

名取郡　奈止里

宮城郡　美也木

國分　今別民分宮城郡西北群村称國分郡

黒河郡　久呂加皮

志田郡　志大

遠田郡　止保大

栗原郡　久利波良

磐井上郡　伊波井

磐井下郡

膽澤上郡　伊佐波

膽澤下郡

驛貳拾九　行程四拾八里余　壹里五町の内外

圖画をなせり

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

越河驛 二丁 十間

戸七十

土産 蘭

至齊河驛 一里十二丁四十間

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』 請求記号 亥二-182

ガラス使用

白石驛 十二丁 三十間 至大宮驛
一里七二丁 廿間

戸千
出産 紙上品 紙布 葛粉
市日 一六七

元町 中町 長町 渡り町 横町 新町

新館山

白石川

行倉氏屋敷

花畑さん

白石城ハ古ヘ白石氏代住ル由慶長
年間上杉家屬城ニテ甘糟備後守
住護ニテ伊達貞山ノ攻落ル其時
ヨリ行倉氏守護セリト

中ノ目村

越王堂ハ甲冑着ル男女ノ古像二軀
アリ里俗云傳ハ田村將軍此所ノ鬼ヲ討
タヒラゲ後鎮護ノ為ニアル自像ヲ安置ス
ルニ一日即成次郎義綱新羅三郎義光
東夷ノ起ルヲヨリテ祀ルニ亦佐藤次信
忠信ノ真ノ像ヲ石堂旧ハ越河堂ニアリ
何頃ヨリカ越王堂ト唱ルニ古老いヘリ

石光堂
越王堂
鬼磐岩

鏡ヶ岩

齊河驛 三丁 十間 至白石驛
一里十五丁四十間

戸四十五
出産 孫太郎虫 繭 松茸

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

宮城氏住之所
年代考ル

古城址

岩角山

観音堂

苅田
黍田
郡異

小巨坂

皮袋石神祠

真野長者ヤシキ

松河

宿道

大宮驛 四丁
北間 一里九二丁

白鳥大明神

至金ヶ瀬驛

戸五十三
土産 紅花餅 煙草

子捨川

温泉山
(一日大形り)

神名帳曰 苅田嶺神社
ヨミ仁ル山 屏風岩 白石岳
ヲモヒリ 蔵王権現ヲ祀ル
温泉湧出ル
續日本後紀ニ曰 承和十二年奉授陸奥無位
勲九等苅田嶺神從五位
下緣有灵驗也

大宮驛 一里九三丁
長野ヨリ 板鼻ヨリ半
川崎ヨリ 熊谷ヨリ半
篠谷ヨリ 関根ヨリ半
新山 耀弘堂
小白川 山形城市

東鑑九曰文治五年八月十日和田小太郎義盛
馳参于先陳及昏黒到于芝田郡大宮宮辺西木戸
大二郎國衡者経出羽道欲越大関山

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

戸百廿九
土産 紵布 鮭
青鮫 川苔

金濱驛 十丁 廿四間
至大河原驛 九丁 廿二間

古城址

柴田舘ヲ去ル舟圧
四保舘此城東鑓ヲ當
次郎住ラレシ今
柴田氏住ス

東鑓九日河村千鶴丸東切ヨリテ
船迫驛ヨリ松ノ下ヲ俄ニ加首服ナス河村
四郎秀清ヲ烏帽子加冠ス加々美次郎
長清也

大隈河

大河原驛 九丁 廿二間
至船迫驛 一里十二丁

戸二百余
土産 紅花 鮭 青鮫

市日 三八

和名抄曰新羅郡

韮神山

船迫驛 六丁 廿五間
至槻木驛 一里十二丁

戸五十四
土産 紅花 鮭 青鮫

國衙墓

大高山 神社

定竜寺

大高宮縁起ニ元禄十年四月
東大寺前大僧正道忽深毫平記
其中ニ陸奥国の中彼高の見野
ほと近き山林ニ神天上降
ありと

日本後紀曰弘仁九年奉授
陸奥國柴田郡無位大高山神
從五位下

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

為ノ坂峠

和銅六年十二月新建
陸奥國丹取郡

當所名取郡界

四市村

長谷村

東平主家

白幡村

白幡祠

戸七十八
土産 紅花餅 青銀
市日 五ノ十

擬木驛 岩沼驛
一里十七丁

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

東鑑九曰海道大將軍
千葉介常胤下略
相具于常胤知家渡逢
隈湊參上

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

中田驛 三丁余
至長町驛
三十二丁四十間

戸百七余
土産 菜品
市日二ノ日

長町驛 六丁三間
至北目町驛

戸百十七
土産

仙臺城市 七四丁余
至七北驛
二里十丁

戸千七百十三
土産 精好平絽上品 紬
紙布 鉄煙管 火箸上品

前田村
名産苧菜

小野田村

一目ざる河

諏訪町

名取宮城郡界

土橋六十間

名取河

熊野神社

聖慶寺
文安二年酉十月八日此大工性永

東鑑九曰因人佐藤庄司
名取郡司熊野別當蒙
厚免各帰本處云々

東鑑九曰名取廣瀬両河
引大縄柵

二日越峠

をいで森

廣瀬河 仙臺河ともに風土記曰青葉河なり

廣瀬河

両足山大念寺

川原町

五軒茶や

木町

石町

荒町

南かち町

田町

梁佛町

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

土産陶器

七北驛 八丁 南間 驛 三里九丁 至富谷

戸百
土産

東鑑九曰奉衡者陳、
国分原鞭猶

青葉山ハ古城趾ナリ国分氏ノ人
数代住ラレシ年代不詳貞観
年中釋慈覺千體佛ヲ安置
シ玉ヒシ地名ナリ千體ニシテ後千代ニ
慶長五年十二月伊達貞山城ヲ
建其時仙臺ト改メラル同八年八月
造營終ル

七北驛迄ラ八丁ヲ壹里ニカ
山道ニ移ラル山道ハ六丁ニシテ
一塚ニ

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

東鑑九日文治五年八月十四日
自多賀國府經黒河令赴役
郡給

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

岩岡驛 十二丁
余
至三本木驛
三里十丁

戸百六十

土産 茶 花の波 花の波
酒 春風 寒月 霜夜

市日五九

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

三本木驛 北ヘ 三十七間
一里廿丁九八間 至古川驛

戸百四十二
土産 柔 上品
市日 二六八

古城址
七ツ橋
北町
南町
成瀬川
石巻湊より通船
伊賀村
黒川志田郡界
駒場村
赤崎大明神
鶴の子山
蛇ヶ岳

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

古河驛 十三丁 三間 一里十三丁 至新家驛

一戸六百
大産 米上品 糀
塩山掛 菅笠
市日 三七

陸奥話記曰康平五年八月九日到栗原郡
營嵓 昔田村麻呂征蝦夷之日於此支整
將軍
軍士自其以來号曰營整迹猶存武則真人
先軍此處後三年記曰栗原郡營岡うて
諸陣を押領使をはらるゝて 軍伏そのゝ時
下略

営岡八幡宮

八ツ村

志田郡
栗原郡 三郡界

童子川村

何ノ花村

二ノ口村

休塚村

丑造河

井合町

十日町

七日町

糀町

三日町

呉服町

羽州街道

稲葉村

米袋村

東鑑曰
文治五年八月九日二品令赴
玉造郡給則囲秀衡多加波々
城給之處秀衡蒸去城逃亡

續日本記神護景雲元年十二月
置陸奥國栗原郡

續日本後紀曰承和四年栗原
加美両郡

新家驛 三丁 至高清水驛 一里九二丁四十七間

古川ヲ三リ半 岩手山一リ半
宮一リ半 カヂヤ澤一リ半 尾前
一リ半 中山三リ半 笹森五リ
尾花沢メ十八里余

やらい山

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

和名鈔曰清水鄉

高清水驛ヨリ東

至筥館驛

二里九丁二十間

戸八十三

土産

帋日 四九

地頭若生田氏宅

やかへ坂

下タ町

墓町

松嶋道

古城址

小野村

戸五十

土産

来祥山福現寺門前ニ古碑ハリ

天和三年驛東古城跡ヨリ出所ト

ウツシトリシト銘曰

右奉為先考幽霊

成佛得道

弘安三季歳次庚辰

季春上旬

平行轉敬

白

東鑑十九巻建暦元年平資轉

ニ云者小林新熊野社祀神田隆慶

訪ル事ヲ銘シ按ルニ此碑ハ資轉ノ

墓碑ニシテ其子行轉建ル所

ナラン

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』 請求記号 亥二-182

ガラス使用

澤辺驛 四丁余

戸百廿
土産 菅笠

至金成驛 十八丁

古城址
古城址
姉帰村
塵清水
荒瀬河
城生野村
八幡宮
古城跡
うとう森山
石ケ森山
横ケ岩山

東鑑曰文治五年八月廿一日
奥二品経松山道到
津久毛橋給梶原平二
景高詠一首和歌之
由申云
陸奥の勢ハ御方澤久毛橋
渡セ懸ん泰衡カ頸
祝言之由有御感
云々

金成驛 八丁余

至有壁驛 二里六丁

戸百八十
土産
市日

宮野驛 五丁余

至澤辺驛 二里

戸九十六
土産
市日 六十

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号 亥二-182

ガラス使用

東鑑曰文治五年八月廿一日泰衡
即従於栗原二迫等構要害祀り
澤辺より此辺迄三ノ迫と云り

炭焼藤太と云る者ハ天治年中の頃
炭を獲て業として富てる
三人の男を持り 嫡治 嫡内 嫡六有り
仁安二年三月没ル
此辺にて金生と云も 砂金産せり 故也
貞享三年二月 刻校せる所の像記り

金田八幡宮

有壁駅 一丁四 十六間 至一関駅
戸七十三
土産

相の山
十万坂
有加村
求野村
寒沢道
畑村
炭やき藤太墓
駒ケ嶽
神名帳曰
駒形根神社

天喜年間将軍頼義八幡太郎
義家十万の軍勢を揃り故ニ
小万坂と云り

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182
ガラス使用

和名鈔曰大凡六尺ノ誤ナラン

一ノ関驛 七丁

戸二百余

土産 麻 紅花 絹 絲 鞍

驛の東十里ほど馬屋村と云所にて古へ秀衡の時は駿馬の産数多ありし其奴僕御厩にて今よりも多くて村民製造専ら出せる上品なり

市日 大町 四日 廿日 地主町 晋十日 九日

うどり山

かぢ町

地主町

大町

百人町

新寺小町

鶴養井河

古道

田村侯居所

陸奥話記曰賊衣到盤井河迷惑失津

山目驛 五丁余 三里余

戸二百

至前澤驛

古へ此所より加美郡へ出て多賀の國府へ至りしと土俗云傳ふ

栗原下嵜郡史

くぬぎ坂

鬼墓

鬼死骸村

里俗云傳ふ古昔田村將軍此所にて鬼切七ツ八ツ甚死骸を埋しゝ故村名となる頭は加美郡鬼切部村へ埋て塚を建りと

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

延喜式小載る傑草神社今ハ
観音と称ス土俗云傳ふ
天武天皇中将草薙義刀之支長之
東てくちのの浦地ニあるゝ刀劔
鍛ヘし
鉦曰奥州舞草赤ハ
舞草支長ニ作り

延暦十七年田村利仁将軍
心路主を田谷窟ニ誅ス
高丸ハ遠田郡神楽岡ニ
討れり其後国家鎮護
為ニ毘沙門天百八体と薬
師覚ニ作らしめ彼窟ニ
安置ス
東鑑曰文治五年九月十八日
二品泰衡ハ是坂上将軍
於此窟前建立九間置精舎
令摸鞍馬寺安置多門天像
靺鞨西光寺ニ有今ハ窟中ニ
古佛存ス

東鑑文治五年九月條下曰
金色ニ金正方並ニ無量光院ニ
北構宿館号平泉館
國衡永同四男隆衡宅相並
三男忠衡家者在于泉屋裏
東無量光院東門構
一郭号加羅御所
泰衡相継ニ為居所焉

高野山興山寺宝書曰
一切経五千餘巻以紺紙
金銀泥ニ令書写ニ此経ニ欲納
佛塔ニ引通之霊地于ニ奥
野山金剛峯寺者大師入定
之霊窟ニ依ニ其ニ隆ニ精
ニ吉也者今寄進ニ畢ヌ聞
説佛種従縁生ニ依ニ此
仍結現當二世之善
果殊一家繁昌御祈
念ニ所希也者為香花
料當国石川庄
永代令寄進者也
仍状如件
養安二年 秀衡
金剛峯寺
寺僧中

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

市日一六

岩屋堂市

鎮守府八幡宮

八幡村

弘法清水

岩屋堂道

竈神

川原村

通町

川口町

五町

柳町

大町

袋町

猿町

上藤巻
下膽澤郡境

塩竈神

須江村

水澤驛 北八丁余 至金ヶ崎驛 一里三十五町

戸四百余
土産細鶴内正法寺寫石硯有
市日五十

水澤驛地頭旧膽澤氏うして
東鑑曰膽澤左近將監家景
か家あり頼朝命して奥列せ
留主所とあり今に至りて
亦留主ともいふ俗伊達氏と
なるより

駒ヶ岳

此邊鶴鳧ノ形ヲ
作りて田圃中ニ立
鶴鳧式猟せり

神名帳曰
駒形神社

東鑑曰九月廿一日戊寅於伊澤郡鎮守府令
奉幣八幡宮号筥崎離宮云々是田村麻呂
將軍為征東下向之時所奉勧請崇敬之霊
廟也彼御所帯々弓箭并鞭等納置之于
今宝蔵云々

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』 請求記号 亥二-182

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

亥二
182

国立国会図書館　　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『大日本国東山道陸奥州駅路図』　請求記号　亥二-182

ガラス使用